

1. 概況

当月の通信機器[国内]の受注・出荷は667億円/前年同月比4.5%減と3か月連続で減少。
 有線端末機器は、事業所用コードレスホン(同比11.4%減)などが同比を下回ったが、VoIP-GW(同比12.2%増)、インターホンとその他合計(同比21.3%増)、ファクシミリ(同比16.8%増)が同比を上回ったため、全体では193億円(同比15.9%増)と増加した。
 移動体端末機器は、携帯電話のフィーチャーフォンを含む4Gモデルが同比を上回ったが、5G以上モデルは9月末に海外メーカーから新製品が発売された影響が続いて国内メーカーの出荷が減少し同比を下回ったため、全体では168億円(同比28.6%減)と減少した。
 有線ネットワーク関連機器は、その他の伝送装置(同比16.5%増)が同比を上回ったが、ボタン電話装置(同比16.9%減)、デジタル伝送装置(同比20.6%減)、PON/MC(同比46.4%減)などが同比を下回ったため、全体では137億円(同比24.1%減)と減少した。
 無線ネットワーク関連機器は、前年度からの低迷が続いている基地局通信装置(同比60.8%減)が同比を下回ったが、地上系で官庁(地方自治体)向け、衛星系で官庁(中央官庁、地方自治体)と民間(電気通信事業者)向けの需要が大幅に増加した固定通信装置(同比203.3%増)が同比を上回ったため、全体では140億円(同比73.2%増)と大幅に増加した。
 その他ネットワーク関連機器は、LANスイッチ(同比1.4%減)などが同比を下回ったが、その他(同比26.9%増)が同比を上回ったため、全体では27億円(同比3.1%増)と増加した。
 通信機器用部品は2億円(同比73.8%減)と減少した。

2. 受注・出荷実績

(金額単位:百万円)

機種別	月・期別	10月	前年同月 比増減率(%)	4月～10月 累計	前年同期 比増減率(%)	1月～10月 累計	前年同期 比増減率(%)
通信機器		66,663	-4.5	469,399	-10.0	739,654	-20.1
端末機器		36,020	-10.2	267,473	-7.9	387,455	-13.7
有線端末機器		19,262	15.9	147,245	3.4	222,143	1.9
移動体端末機器		16,758	-28.6	120,228	-18.8	165,312	-28.3
ネットワーク関連機器		30,403	5.7	200,877	-10.2	348,458	-25.2
有線ネットワーク関連機器		13,689	-24.1	114,155	-2.8	188,245	4.2
無線ネットワーク関連機器		13,974	73.2	63,258	-24.7	125,408	-49.5
その他ネットワーク関連機器 (ルーター・LANスイッチ等)		2,740	3.1	23,464	6.2	34,805	-5.3
通信機器用部品		240	-73.8	1,049	-86.1	3,741	-68.0

(注) 1. CIAJ自主統計に基づく
 2. 移動体端末には市民用トランシーバー、アマチュア用通信装置を含まず
 3. ボタン電話装置は、端末機器に含めず、ネットワーク関連機器に含めた(2018年4月から)

3. 受注・出荷推移

